

各位

2023年3月20日
会社名 のむら産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清川悦男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 西澤賢治
(TEL 042-497-6191)

2023年10月期 第1四半期 決算補足資料

この質疑応答集は、2023年3月10日に発表いたしました2023年10月期 第1四半期 決算について、発表以降に株主、投資家などの方々から頂いたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。

Q1 | 第1Q業績について、売上高、各段階利益において、前年同期比増収・増益とのことですが、その要因と通期計画に対する進捗について教えてください。

A | 第1Q業績の要因は、包装関連事業において、包装資材が引き続き家庭用、業務用がそれぞれ堅調に推移したこと、また、包装機械の製造、販売については、部品供給の停滞が少しずつ改善され、受注、販売状況は好調に推移したことによります。物流梱包事業については減益となりますが、コスト上昇を見込んでいる社内計画通りに進捗しています。第2Q以降も、積極的な営業活動に加え、為替状況、原価、原材料価格などの外部要因に対しても、適切に対応し、通期計画の達成を目指して参ります。

Q2 | 第1Q業績については計画通り推移している一方で、通期計画に対しての進捗率が低い理由を教えてください。

A | 当社の売上の約85%が包装関連事業（包装資材・包装機械）です。包装関連事業は、米穀精米袋や米穀用自動計量包装機などのお米に関連する製品を扱っていることから、業績が季節によって変わる傾向があります。特に新米の出荷時期にあたります第4Q、8月から10月の間は、一年の中で最も精米の販売量も多く、それに伴い包材・機械ともに需要が増加し、売上高が高くなる傾向にあります。それに比べて、第1Qの11月から1月は農閑期ということもあって、需要が落ち着く時期になり、通期計画に対しての進捗率が低くなる傾向にあります。

Q3 | 新市場の開拓状況について、進捗状況を教えてください。

A | コロナ禍の影響で開催に制限があった展示会への出展も再開し、コマ流通業界以外の顧客への販促活動を実施しております。結果として引き合い、問い合わせも増えてきており、引き続き当社の事業拡大に寄与できる市場について、適切に判断し、売上・利益へ還元できるよう努めて参ります。

Q4 | 今期の配当方針について教えてください。

A | 当社の基本方針として、事業拡大に必要な内部留保とのバランスを図りながら、安定的かつ継続的な配当を実施、また配当性向25%程度を目標としております。今期につきましても、利益をしっかりと積み上げ、株主の皆様へ適切に還元できるよう努めて参ります。